

大学生等による地域課題解決の支援(萩地域)

《萩市小川地区》

1 実施主体

平山台交流実行委員会(代表 高津 聡)

2 連携大学

広島修道大学三浦ゼミ(三浦浩之人間環境学部教授)

3 支援の概要

<第1回>

(1) 実施日 平成26年6月21日(土)

(2) 参加者 地元組合員等 16人、大学生等 6人

(3) 内容

都市住民などとの交流による地域の活性化を図るため、若者の視点を活かした「地元あるきツアー」等地域内滞留型・周遊型のツアープランの作成

① 果樹園地内の現地調査



もも園

② 交流・研修会

○ 学生によるプレゼン(提案)

- ・周防大島町の“ジャムズガーデン”を参考にジャム作り
- ・半生のドライフルーツづくり
- ・お酒に合うフルーツ、サングリアづくり
- ・周辺観光地との連携



<第2回>

- (1) 実施日 平成26年8月28日(木)～8月30日(土)
- (2) 参加者 地元組合員等 16人、大学生等 9人
- (3) 内容

平山台周辺の龍鱗郷(りゅうりんきょう)や畳が淵(たたみがふち)などの史跡調査及び澄川酒造場等の取材を行い、平山台地域の認知度をアップするためのアイデア提案

① 現地調査



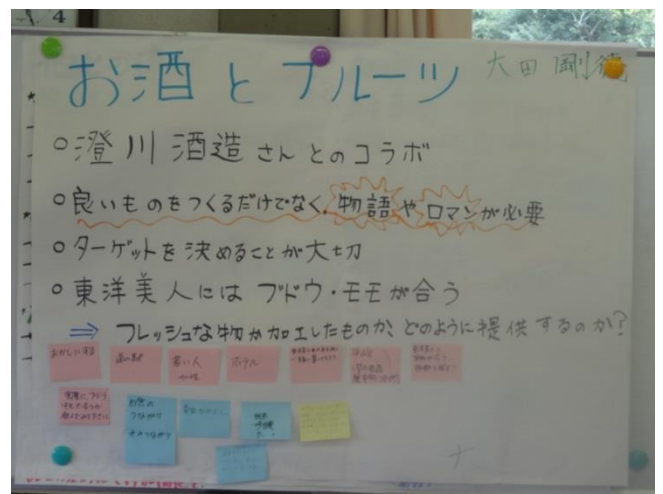
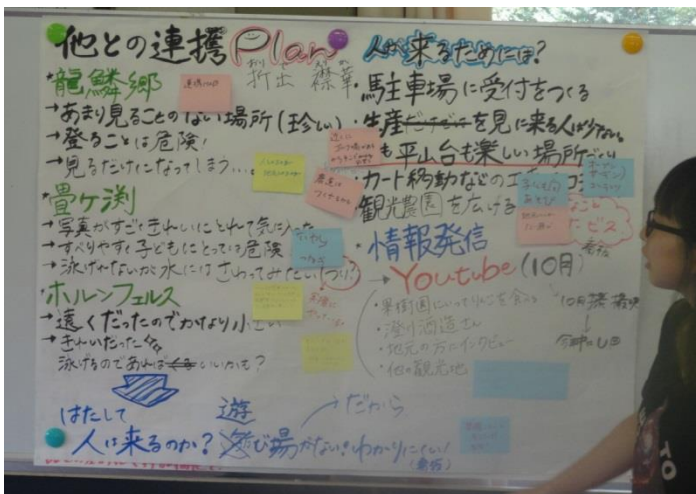
ぶどう園



龍鱗郷

② 認知度アップのため企画提案

- 平山台果樹団地の果樹の魅力、優れた商品力を引き出し、“物語やロマン”を消費者にPR
- 魅力アップ対策として“平山台も楽しい場所”の具体化及び畳が淵など“癒し”空間との連携、活用及びYoutubeによる情報発信
- 澄川酒造場の「日本酒と果樹(ブドウ、桃など)」の具体的なコラボの方法の検討
- 澄川酒造場とのコラボ、日本酒のつまみとして果樹を「半生ドライフルーツ」の商品化
- 平山台の果樹を使って「超高級なジャム」の製造、ニッチなところ、“健康・美容”など機能に視点
- 道の駅で、自分だけのジュース・ジャムづくりが「体験」できるコーナー設置



<第3回>

- (1) 実施日 平成26年11月22日(土)
- (2) 参加者 地元組合員等 6人、大学生等 5人
- (3) 内容
平山台果樹団地をPRするためのビデオ撮影



<第4回>

- (1) 実施日 平成26年2月21日(土)
- (2) 参加者 地元組合員等 18人、大学生等 6人
- (3) 内容 平山台果樹団地の地域資源を活用して、都市住民との交流をするための提案
 - ①「平山台果樹団地ジャム作り」
 - ・ターゲットを絞り、果樹の種類、品種が多いので、組み合わせ、平山台の味を作る。
 - ②「お酒にフルーツ」
 - ・全国的に有名な「東洋美人」の力を借り、日本酒とあう和菓子等を提供する。
 - ③「平山台果樹団地 人が来るためには」
 - ・魅力的な畳ヶ淵と連携し、道の駅田万川のお客さんを果樹団地に誘導する。
 - ④「ドライフルーツを使った果樹団地の活性化」
 - ・ドライフルーツは日本酒のつまみに合うので、イベント等で試食会を実施する。
 - ⑤「平山台げんき化コンセプトブック」
 - ・平山台
 - 「和」「間」「所」→“ふるさと平山台”
 - ・観光だけでなく、生活に価値がある。

